

# 平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	466 生きた英語教育推進事業					
総合計画	めざまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む				担当課	学校教育課
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	01	項 教育総務費
	03	目	教育指導費				
	予算事業名	基本事業 (事業1)	教育指導関係経費		細事業名 (事業2)	生きた英語教育推進事業	
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託		対象	特定の市民	市立幼稚園児・小中学校児童生徒
事業期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	-			
事業の目的	異言語・異文化コミュニケーションの楽しさを味わわせるとともに、積極的に英語を学ぼうとする姿勢を育てる。						
事業の概要	①公立幼稚園、小学校、中学校へのALTの配置計画を立案し、効率的に実施する。 ②ALTの有効活用を薦めるための教職員の研修会を実施。学校の教育活動で具体的なALTの活用方法やALTへの指示書の作成の方法を研修する。						

## 2. 事業の実績 (Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託契約によりALT4名（4名の委託契約）を配置。</li> <li>・中学校 鷺津（159日）白須賀（80日）湖西（76日）岡崎（122日）新居（157日）</li> <li>・小学校 鷺津（63日）白須賀小（20.5日）東（20日）岡崎（59日）知波田（19.5日）新居（40日）</li> <li>・幼稚園 鷺津（10日）白須賀（4日）新所（5日）岡崎（9日）知波田（5日）新居（9日）</li> </ul>							
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H32年度から始まる小学校3、4年生の外国語活動、5、6年生の英語教科化に向けて、ALTの人数、各園、各校への配置日数を検討する必要がある。</li> </ul>							
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	事業費 (A)	当初予算額	21,168	千円	21,168	千円	21,168	千円
		決算（見込）額	21,168	千円	21,082	千円		千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0	千円
		一般財源	21,168	千円	21,082	千円	21,168	千円
	人件費 (B)		1,863	千円	1,749	千円	1,183	千円
	人工（職員数の内訳）		0.24	人	0.23	人	0.16	人
トータルコスト (A) + (B)		23,031	千円	22,831	千円	22,351	千円	
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	学校教育課事業調査において、11校中、Aと答えた学校の割合	%	目標	100	100	100		
			実績	100	100			
		達成度	100.0%	100.0%				

## 3. 評価 (Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>発達段階に合わせた英語教育、国際理解教育に大いに役立っている。コミュニケーションの基礎となる態度の育成に有効であるため。</p>	
------	--	--

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	継続
今後の方向性 (課題に対する改善等)	●ALT（外国人指導助手）を委託契約として配置していく。

# 平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	467 外国人児童生徒適応指導教室事業									
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち				担当部	教育委員会事務局			
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む					担当課	学校教育課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	01	項	教育総務費	03	目	教育指導費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	教育指導関係経費			細事業名 (事業2)	外国人児童生徒適応指導教室事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象	特定の市民 市内小・中学校の児童生徒				
事業期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	-							
事業の目的	外国人児童生徒の学校生活への適応を助け、楽しい学校生活が送れるように支援する。										
事業の概要	①外国人児童生徒の日本語の習得や学習の支援をする。 ②保護者との連絡がスムーズにできるように、通訳や翻訳などを行う。 ③各学校からの要請に応じて、未配置校にも派遣する。										

## 2. 事業の実績 (Do)

事業実績	外国人児童生徒の多い学校に指導員を2名配置。（ポルトガル語1名、スペイン語1名）										
課題	・外国人が散在の傾向にあるため、指導員が配置されていない学校に編入、転入することがあり、配置に苦慮している。 ・フィリピン国籍、ベトナム国籍等が増えてきたため、対応が難しい。										
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	事業費 (A)	当初予算額	1,907	千円	1,927	千円	1,925		千円		
		決算（見込）額	1,892	千円	1,909	千円			千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0		千円		
		一般財源	1,892	千円	1,909	千円	1,925		千円		
	人件費 (B)		1,242	千円	1,166	千円	1,183		千円		
	人工（職員数の内訳）		0.16	人	0.15	人	0.16		人		
トータルコスト (A) + (B)		3,134	千円	3,075	千円	3,108		千円			
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	学校教育課事業調査において、11校中、Aと答えた学校の割合		%	目標	90	100	100				
				実績	100	90					
			達成度	111.1%	90.0%						

## 3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 外国人児童生徒が散在する傾向にあるため、よりいっそう充実した支援が必要である。	
------	--	--

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	●外国人児童生徒が学校生活において困難を抱えることが減るように、今後も指導員の増員なども検討しながら、適応指導教室事業を継続していく。

# 平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	468 不登校児童生徒適応教室事業					
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む				担当課	学校教育課
関連予算科目	一般 会計	10	款	教育費	01	項	教育総務費
	目	教育指導費		03	目	教育指導費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	教育指導関係経費		細事業名 (事業2)	不登校児童生徒適応教室事業	
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民	市立小中学校児童生徒
事業期間	開始年度	平成9年度	終了予定年度	-			
事業の目的	不登校傾向のある児童生徒の相談活動や、個に応じた指導等を通して集団への適応力を育み、自立への支援を行う。						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>適応指導教室（チャレンジ教室）を継続開設し、学校・家庭・他の機関等と連携を図りつつ、不登校傾向にある児童生徒に対して学習支援や電話相談や訪問相談を行う。</li> </ul>						

## 2. 事業の実績 (Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>適応指導教室の開設。9時から12時までの3時間、湖西市勤労青少年ホームで実施。広い部屋があることで軽スポーツにも取り組み、集団への適応力向上にも役立っている。</li> <li>1 学期 4月20日(水)～7月15日(金)</li> <li>2 学期 9月5日(月)～12月15日(木)</li> <li>3 学期 1月12日(木)～3月9日(木)</li> </ul>							
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年ホームから西部公民館へ移転となったため、物的環境の整備が必要である。活動についても借用施設の関係で従来より制限がかかってしまうため、教育活動の工夫が必要である。</li> <li>適応教室入級児童生徒に適した学習教材の選定・提供が難しい。</li> </ul>							
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	事業費 (A)	当初予算額	1,950	千円	1,921	千円	1,955	千円
		決算 (見込) 額	1,949	千円	1,953	千円		千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0	千円
		一般財源	1,949	千円	1,953	千円	1,955	千円
	人件費 (B)		1,863	千円	1,749	千円	1,774	千円
	人工 (職員数の内訳)		0.24	人	0.23	人	0.23	人
トータルコスト (A) + (B)		3,812	千円	3,702	千円	3,729	千円	
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	チャレンジ教室の入級児童生徒の出席率	%	目標		75	75	75	
			実績		68	52		
達成度				90.7%	69.3%			

## 3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	不登校児童生徒が、学校への復帰を目指し、また社会への自立を果たすため重要なため。	

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容 (課題に対する改善等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続し、教員経験、養護教諭経験があり、温かく接することのできる人を指導員としていく。</li> <li>学校と適応指導教室の連絡を取り合い、学校と連携した支援を進めている。</li> </ul>

# 平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	469 語らい読書推進事業					
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む				担当課	学校教育課
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	01	項 教育総務費
	03	目	教育指導費				
	予算事業名	基本事業 (事業1)	教育指導関係経費		細事業名 (事業2)	語らい読書推進事業	
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民	市内小学校児童
事業期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	-			
事業の目的	良書と出会う機会を意図的に設定し、読書に親しみ、本について親子や友達と語らう場を設ける。						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小学校教室に毎月違う良書を配置できるように配置計画の立案し、本の巡回を行う。（およそ月に1回）</li> <li>小学生に薦める良書を紹介する。また、その発達段階に応じた内容の本を選定し、児童にとって親しみやすく、読書の習慣を身につけることができるよう実施していく。</li> </ul>						

## 2. 事業の実績 (Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>湖西市推薦図書の選定・購入</li> <li>配置計画の立案</li> <li>各校への本の配布（およそ月1回の巡回）</li> <li>破損、紛失による補充</li> </ul>							
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年によって、1冊の本を読み終わる時間が異なるため、期間が適正でない場合もある。（およそ1か月で巡回している。）</li> </ul>							
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	事業費 (A)	当初予算額	164	千円	175	千円	173	千円
		決算（見込）額	97	千円	165	千円		千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0	千円
		一般財源	97	千円	165	千円	173	千円
	人件費 (B)		1,863	千円	1,749	千円	1,183	千円
	人工（職員数の内訳）		0.24	人	0.23	人	0.16	人
トータルコスト (A) + (B)		1,960	千円	1,914	千円	1,356	千円	
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	巡回図書の延べ冊数	冊	目標	4,950	4,950	4,950		
			実績	4,895	4,838			
			達成度	98.9%	97.7%			

## 3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	児童にとって情緒面での成長や良書に触れるよい機会となるため。	

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容（課題に対する改善等）	・推薦図書の見直し、購入と損傷等の本の補充を行う。

# 平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	477 ポルトガル語通訳派遣事業					
総合計画	めざまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む				担当課	学校教育課
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	01	項 教育総務費
	目	教育指導費		03	目	教育指導費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	教育指導関係経費			細事業名 (事業2)	ポルトガル語通訳派遣事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民	市内小・中学校の児童生徒
事業期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	-			
事業の目的	外国人児童生徒の就学を支援したり、保護者との連絡を円滑に進めたりする。						
事業の概要	①外国人児童生徒の日本語の習得や学習の支援をする。 ②保護者との連絡がスムーズにできるように、通訳や翻訳などを行う。 ③各学校からの要請に応じて、未配置校にも派遣する。						

## 2. 事業の実績 (Do)

事業実績	外国人児童生徒の多い学校に通訳員を3名配置。(ポルトガル語3名)							
課題	・外国人が散在する傾向にあるため、通訳員が配置されていなかったり、従来の配置日数では対応しきれなかったりするケースが増えてきた。配置を柔軟的に調整する必要がある。							
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	事業費 (A)	当初予算額	5,580	千円	5,796	千円	5,666	千円
		決算(見込)額	5,436	千円	5,621	千円		千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0	千円
		一般財源	5,436	千円	5,621	千円	5,666	千円
	人件費 (B)		1,242	千円	1,166	千円	1,183	千円
	人工(職員数の内訳)		0.16	人	0.15	人	0.16	人
トータルコスト (A) + (B)		6,678	千円	6,787	千円	6,849	千円	
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	学校教育課事業調査において、11校中、Aと答えた学校の割合	%	目標	90	100	100		
			実績	100	100			
達成度			111.1%	100.0%				

## 3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 外国人児童生徒が散在する傾向があるため、より一層充実した支援が必要である。	
------	--	--

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	・外国人児童生徒が学校生活において困難を抱えることが減るように、今後も指導員の増員なども検討しながら事業を継続していく。

# 平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	479 安全教育推進事業										
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち						担当部	教育委員会事務局		
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む						担当課	学校教育課			
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	01	項	教育総務費	03	目	教育指導費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	教育指導関係経費				細事業名 (事業2)	安全教育推進事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象	特定の市民 市立幼稚園児・小中学校児童生徒					
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-							
事業の目的	安全な生活を送るために必要な知識や技能を、子どもたちや職員が身につける。											
事業の概要	①防災教育に必要な資料の提供 ②防災に関する研修や講演会 ③交通・防犯に関する安全教育の実施											

## 2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①児童生徒、職員を対象にした防災講演会の実施 ②職員を対象にした防災研修会の実施 ③防災備品の整備 ④防災教育用テキストの配布										
課題	防災における知識をより高められるような、また、実践力につながるような内容の講演会を計画する必要がある。										
コスト	事業費 (A)	当初予算額	平成27年度		平成28年度		平成29年度				
		決算 (見込) 額	280	千円	330	千円	275	千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0	千円			
		一般財源	220	千円	220	千円	275	千円			
	人件費 (B)	3,105	千円	2,915	千円	2,366	千円				
	人工 (職員数の内訳)	0.41	人	0.39	人	0.31	人				
	トータルコスト (A) + (B)	3,325	千円	3,135	千円	2,641	千円				
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度					
	防災講演会参加者数	人	目標	1,000	1,000	1,000					
			実績	1,100	1,142						
達成度			110.0%	114.2%							

## 3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 今までの災害等を踏まえた講演を聴くことは、子どもたちの防災における実践力に結びつくため。	
------	---	--

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	・国や県の動向を確認しながら、防災教育を柱とした、安全教育の進め方を研究していく。



# 平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	484 小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業									
総合計画	めざまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局				
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む				担当課	学校教育課				
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	01	項	教育総務費	03	目	教育指導費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	研究指定事業			細事業名 (事業2)	小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民		市内小・中学校の児童生徒			
事業期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	-							
事業の目的	児童生徒の生きる力を育むために、学校や地域の特性を生かした特色ある学校づくりを進める。										
事業の概要	教育課程の中で重点項目を設定し、児童生徒や地域の実態に応じた活動を行う。										

## 2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①地域の自然や歴史、人材を生かした体験活動の実施 ②校内研修の充実										
課題	学校や地域の特性を踏まえた実践が各学校で行われているので、活動を見直しながらよりよいものにしていく。										
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	事業費 (A)	当初予算額	8,477	千円	8,473	千円	8,434 千円				
		決算(見込)額	7,959	千円	7,921	千円	千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0 千円				
		一般財源	7,959	千円	7,921	千円	8,434 千円				
	人件費 (B)		4,564	千円	3,411	千円	3,445 千円				
	人工(職員数の内訳)		0.61	人	0.46	人	0.46 人				
トータルコスト (A) + (B)		12,523	千円	11,332	千円	11,879 千円					
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	学校教育課事業調査において、11校中、Aと答えた学校の割合		%	目標	90	100	100				
				実績	90	90					
		達成度	100.0%		90.0%						

## 3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 継続事業により、各学校の特色が色濃く出せるようになってきたことで、教育活動が充実し子どもたちの「生きる力」につながっている。学校からも継続の要望が高いため。	
------	---	--

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	各校における「体験活動の充実」「伝統や文化に関する教育の充実」等の活動が確立され安定したものとなってきたが、従来の踏襲にとどまらないよう、それぞれの重点項目と照らし合わせ精選し実効力のあるものにしていく。

## 平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

### 1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	506 新居小学校ガラス飛散防止事業									
総合計画	めざましの姿	1	人が育つまち				担当部	教育委員会事務局			
	基本計画【施策】	1-②生きる力を育む				担当課	教育総務課				
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	02	項	小学校費	03	目	学校整備費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	小学校施設整備費			細事業名 (事業2)	新居小学校ガラス飛散防止事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	その他		小学校施設			
事業期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	平成28年度							
事業の目的	教育環境の整備・充実										
事業の概要	災害時に緊急避難所ともなる学校の安全と安心を確保するためガラス飛散防止対策を施した										

### 2. 事業の実績 (Do)

事業実績	平成28年8月 工事完了										
課題											
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	事業費 (A)	当初予算額	0	千円	11,566	千円	0 千円				
		決算 (見込) 額	0	千円	11,458	千円	千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	9,327	千円	0 千円				
		一般財源	0	千円	2,131	千円	0 千円				
	人件費 (B)		0	千円	3,074	千円	千円				
	人工 (職員数の内訳)		0.00	人	0.42	人	人				
トータルコスト (A) + (B)		0	千円	14,532	千円	0 千円					
活動指標	内容			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	工事中における児童の安全確保と学校業務の円滑な遂行			%	目標	-	100	-			
					実績	-	100	-			
				達成度	100.0%						

### 3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 工事が完了した。	
------	---	--

### 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	事業完了
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	